One For All, All For One!

国土交通省

Vol.2 第1回勉強会を実施！

担当：森　（2年目）
田村（3年目）

○ 仙台湾南部海岸事業現場見学（7月9日実施）

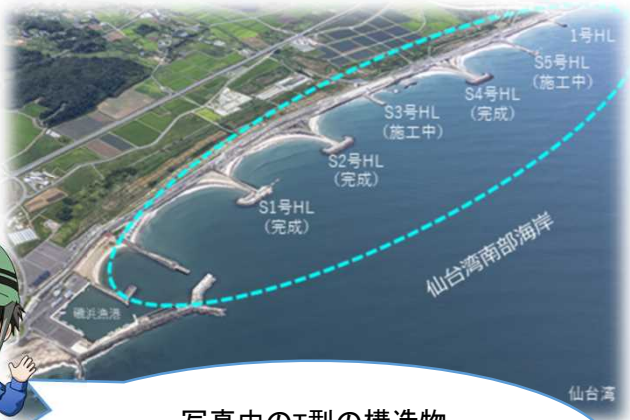
＞第1回勉強会として、東北地方整備局管内で唯一の海岸事業である「仙台湾南部海岸（山元町）海岸保全施設整備事業」の現場を見学しました。現場担当の出張所係長や、施工業者さま御協力の下、事業内容の説明や重機の乗車体験を実施しました。

事業説明の様子

～仙台湾南部海岸（山元町）海岸保全施設整備とは？～
①海岸の侵食防止（国土保全）
②背後地の浸水被害防止
③環境と利用地を兼ね備えた砂浜の維持・再生
④津波に対する減災（浸水被害軽減）
以上を目的とし権限代行制度により宮城県に代わって実施しています。

＞説明を受けて・・・

山元町にある、山元海岸では1963年から現在に至るまで約60年の間に砂浜が100mほど波によって削られており、国土の減少、生物の生息域消滅が問題となっていたため、その対策として本事業が行われていると学びました。海岸保全施設が完成し、豊かな砂浜が再生・維持されることによって、周辺地域の方々の安心と安全に繋がるため、私たちの仕事には大きな意味と同時に責任があることを実感しました。



写真中のT型の構造物
（ヘッドランド）を作ることによって
波から砂浜を守っています

～感想～

・T型の構造物（ヘッドランド）がどのような役割を果たしているのか、疑問に思っていたが、今回の見学で砂浜に向かう波の力を弱め、砂の流出を抑えることで砂浜を維持するためだと学ぶことができた。

・海岸浸食による国土の減少を防ぐため、国土交通省がその対策工事を担っていることが誇らしく感じた。

・クレーンの乗車体験をしてみて、現場の方が持つ技で、事業が成り立っているのだと実感した。

～ 「One For All, All For One」の意味とは ～

一般的には「一人はみんなのために、みんなは一人のために」で認知されていますが、本当の意味は、**「一人はみんなのために、みんなは一つの目的（目標）のために」**です。

仕事は1人だけで行うものではなく、複数人（みんな）で協力し合って行うものであるため、**皆で力を合わせて頑張ろう**という気持ちを込めて、このタイトルにしています。

「One For All, All For One!」は、国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所に所属している2～4年目の事務系若手職員が作成しています。
▸ ホームページhttps://www.thr.mlit.go.jp/sendai/oyakudachi/student/index.html